

図書館だより

NO. 187 2013年11月号
(2013年11月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

ご来館の際は、図書館利用カードをお持ちください

11月から図書館利用カードをお忘れの場合は、「図書館利用カード忘れ届」を提出していただくようになります。

「図書館利用カード忘れ届」には、お名前・電話番号・生年月日・住所の記入が必要です。ご来館の際は図書館利用カードを忘れずにお持ちください。

なお、図書館利用カードをなくした場合は、再発行することができます。カウンターの職員にお問い合わせください。



《中央展示》

『もっと楽しく もっと便利に 文具活用術』

今年もあと残り2ヵ月です。もう来年の手帳を準備している方も多いのではないのでしょうか。

新たな気持ちで2014年を迎えるのに役立つ手帳術や時間・情報管理術、また楽しく使える雑貨などの資料を集めて展示しています。



《さくらびあ展示》

『タンゴ・タンゴ・タンゴ!』

平成25年11月15日(金)にさくらびあ小ホールで、カルロス・ルルフィ楽団の「ベスト・タンゴ」が上演されます。この上演にちなんで、アルゼンチンやタンゴの資料を集めています。

《テーマ展示》

『税について考える』

11月11日~17日は「税を考える週間」です。税金に関する資料を集めて展示しています。この機会に改めて税金について考えてみるのはいかがでしょうか。



展示期間：10月25日(金)~11月27日(水)



・子どもと本の講座・

平成25年度新刊絵本紹介

2012年11月～2013年10月までに、はつかいち市民図書館に入った新刊絵本の中から、職員のおすすめの絵本を紹介します。

参加申込は不要です。どなたでも参加できますので、お気軽にご参加ください。

日時： 11月29日（金）
10時～12時

場所： 廿日市市役所
7階会議室

※参加申込不要



*** 今月の新刊(一般書) ***

図書館には1カ月に約500冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

- 『子どもの本100問100答』 大阪国際児童文学振興財団/編 創元社 019.5/コ
- 『自分の才能の見つけ方』 本田健/著 フォレスト出版 159/ホ
- 『日本国憲法を口語訳してみたら』 塚田薫/著 長峯信彦/監修 幻冬舎 323.1/ツ
- 『加工食品の危険度調べました』 渡辺雄二/著 三オブックス 498.5/ワ
- 『けんほくカフェ』 ザメディアジョン/編 ザメディアジョン 596.7/ケ
- 『2品でパスタ定食』 小堀紀代美/著 文化学園文化出版局 596.3/コ
- 『ミクロの森』 D.G.ハスケル/著 築地書館 653.1/ハ (木エコーナリー)
- 『東京百景』 又吉直樹/著 ヨシモトブックス 779.1/マ
- 『できる大人のモノの言い方大全 LEVEL2』 話題の達人倶楽部/編 青春出版社 809.2/テ
- 『たしなみについて』 白洲正子/著 河出書房新社 914.6/シ
- 『寄る年波には平泳ぎ』 群ようこ/著 幻冬舎 914.6/ム
- 『シャドウ・ストーカー』 ジェフリー・ディーヴァー/著 文藝春秋 933/テ
- 『星籠の海』 上・下 島田荘司/著 講談社 F/シ
- 『とっぴんぱらりの風太郎』 万城目学/著 文藝春秋 F/マ





新刊

こどものほん



『そんなときどうする?』

セシル・ジョスリン/文 モーリス・センダック/絵
こみやゆう/訳 岩波書店 E/㌸

図書館で読書中に悪者に誘拐されそうになったら、「そんなときどうする?」。北極の氷の家で食事中にホッキョクグマが入ってきたら、「そんなときどうする?」。くちいっばいにプディングをほおばっている時に王子さまからプロポーズされたら、「そんなときどうする?」。

そんな数々の奇想天外な場面にであっても大丈夫!ピンチをスマートに切り抜ける方法を教えます。

『図書館に児童室ができた日』

アン・キャロム・ムーアのものがたり
ジャン・ピンボロー/文 デビー・アトウェル/絵
張替恵子/訳 徳間書店 E/㌸

アンが子どもの頃、子どもたちは図書館に入れてもらえなかった。成人した彼女は、女性でも図書館員として働くことができると知り、それ学ぶためにニューヨークへ。図書館で働き始めた彼女は、やがて子どもたちのためにいちばんすてきな児童室をつくろうと心に決め実行した。児童図書サービスの先駆者の生涯を紹介した絵本。

『ミサゴのくる谷』

ジル・ルイス/作 さくまゆみこ/訳 評論社 933/㌸
アイオナがぼくにそっと教えてくれた秘密。それは保護鳥の珍鳥ミサゴが、我が家の農場に巣を作っているということだった。

秘密を共有した2人は一緒にミサゴの観察を始めるが、アイオナがある晩、突然亡くなる。残されたぼくは、仲間や周囲の大人たちの力を借りながら、遠い地へと飛び立ったミサゴの旅を見守るのだったが…。

ミサゴを通して出会った人々の心温まる交流と、希望の物語。小学校高学年から。

『セラプト先生がいるから』

ロブ・フイエー/作 西田佳子/訳 静山社 933/㌸
新学期、新任教師のセラプト先生を待っていたのは、いたずら好きなピーター、プライドの高いルーク、悪口や嘘で周囲を惑わすレクシーなど、一筋縄ではいかない7人の5年生だった。新米教師に何ができると高をくくっていた子どもたちも、セラプト先生のユニークな授業と人柄に触れ、次第に心を開き始めた矢先! 事件が起こる。

子どもたち一人一人の気持ちを日記のように並べて綴った、高学年向け読み物。

その他の新刊

『ソフィー・スコットの南極日記』

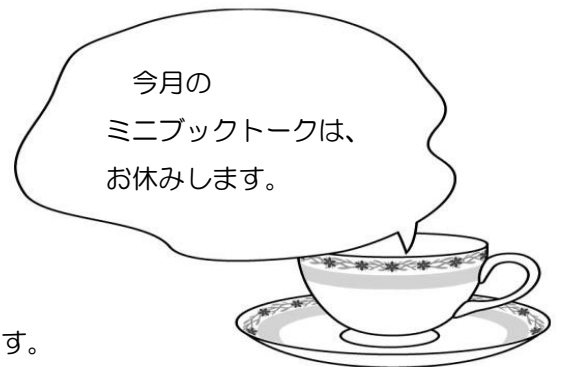
アリソン・レスター/作 斎藤倫子/訳 小峰書店 402/㌸

『どろぼうがっこう ぜんいんだつごく』

『どろぼうがっこう だいうんどうかい』

かこさとし/作・絵 偕成社 E/㌸

40年にわたり読みつがれてきた絵本『どろぼうがっこう』の続編です。



ストーリーテリングの世界を楽しみましょう

ストーリーテリングとは、語り手(ストーリーテラー)が、日本や世界の昔話、創作の物語を覚えて語り聞かせるものです。今月はいつもの「おはなしの部屋たまてばこ~ストーリーテリングのおはなし会~」に加えて、年に一度だけ開催する「大人のためのストーリーテリング」もあります。この機会にぜひ、お楽しみください。

はつかいち市民図書館まつり 大人のためのストーリーテリング

11月9日(土) 14:15~15:45 さくらびありハーサル室

おはなしの部屋たまてばこ~ストーリーテリングのおはなし会~

11月16日(土) 11:00~11:30 図書館内会議室 幼児から大人までどなたでも





ブックトークボランティア養成講座

ブックトークとは、ある一つのテーマに沿って、一定時間内に数冊の本を複数の聞き手に紹介することです。

平成25年度の子どもと本の講座では、ブックトークボランティアの養成講座を行います。中学校でブックトークをしてみたい方・ブックトークに興味がある方は是非ご参加ください。

★ プログラム ★

回	日時	場所	内容	講師
1	12月6日(金) 15時30分～ 17時	廿日市市立 大野東中学校 図書室	ブックトークの実践 講師が中学生にブックトークを実践する様子、及び中学生がブックトークを実践する様子を見学します。	狩野 ゆき氏 灘中学校・ 灘高等学校図書館
2	12月7日(土) 10時～12時	廿日市市役所 7階会議室	ブックトークの できるまで	狩野 ゆき氏 灘中学校・ 灘高等学校図書館

※1回目と2回目の時間と場所が違いますので、ご注意ください。

- 対象 学校や市民センター、図書館などで子どもに本をすすめる立場の方、子どもの読書に興味のある方など。
- 定員 30人
- 申込 はつかいち市民図書館へ電話、または来館（先着順、定員になり次第締め切ります）

※1回のみ受講も可能ですが、できるだけ連続しての参加をお願いします。

お問い合わせ先

はつかいち市民図書館
TEL (0829) 20-0333

11月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1 ◎	2
3	4	5	6	7	8	9 ★
10	11	12	13	14	15 ◎	16 ◆
17	18	19	20	21	22	23 ★
24	25	26	27	28 休館	29	30

◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児
【時間】1回目 11時～
2回目 11時30分～

※相談窓口で整理券をお渡ししています。
カウンターにお問い合わせください。

★おはなし会

【対象】幼児～小学校低学年
【時間】11時～

◆ストーリーテリングのおはなし会

【対象】幼児～大人
【時間】11時～

※場所はいずれも図書館会議室です。